

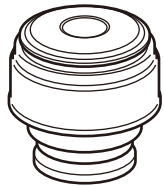
## パッキンの取り付け方

### 中 栓

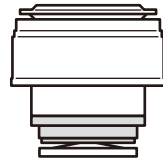
[注意] 正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

1.中栓のボタンを押して「開状態」にします。

↓ 押す

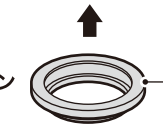


2.パッキンの取り付け方向に注意して、中栓本体の溝に合わせて、確実に取り付けてください。



取り付けイメージ (断面図)

パッキン



上側  
下側

### キャップユニット

[注意] 正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

強く押し込む

カバーパッキン

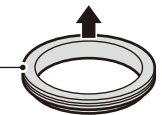
取り付けイメージ (断面図)



取り付けイメージ (断面図)



上側  
下側



シールパッキン

キャップ本体の溝に合わせて確実に取り付けてください。

## ⚠️ 取扱上の注意

- 乳幼児の手の届く所には置かないでください。又、いたずらには十分注意してください。ヤケドやケガの原因になります。



- 中栓・キャップユニットは、パッキンが正しく取り付けられている事を確認し確実に閉めてください。

漏れの原因になります。本体を逆さにして漏れない事を確認してください。

- 飲料物を入れた状態で長く放置しないでください。

腐敗や変質の原因になります。又、腐敗等により飲料物からガスが発生し内圧が上がり、中栓・キャップユニットが開かなくなる、飲料物が吹き出す、破損し飛び散る原因になります。



- 飲料物を入れて持ち運ぶ時は、本体を立てた状態で持ち運んでください。

漏れの原因になります。



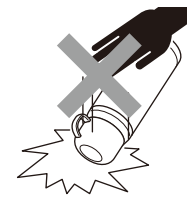
- コンロやストーブ等、火気のそばには近付けないでください。

ヤケドや変形・変色の原因になります。



- 落とす・ぶつける等の強い衝撃を与えないでください。

変形し、漏れや保温・保冷不良の原因になります。



- 電子レンジで加熱しないでください。

火花が飛び、ケガやレンジの故障の原因になります。



- 冷凍庫に入れないでください。

漏れや破損の原因になります。

- 自動車や自転車の走行中には使用しないでください。

飲料物がこぼれ、ヤケドやものを汚す原因になります。又、運転時の注意が散漫になり、事故の原因になります。